

令和5年度 技術科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・多くの活動において概ね意欲的に取り組むことができた。

(2) 課題

- ・より実践的な知識や技能の定着を図る。
- ・個々にあった課題解決の方法を考える能力を身に付けさせる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一般的な工業製品についての素材や加工方法の理解は得られているが、社会や環境との関連を理解することに不慣れな生徒も多い。さまざまなメディアを用意して理解を促していく必要がある。	授業での発問をどう平易な言葉で伝えていくか、問題解決のためのヒントづくりも含めて課題となっている。振り返りシートの項目も改善の余地がある。	課題解決のための方法としての小集団での話し合いに不慣れな生徒がいる。結果だけではなく過程の中で主体的に考える面白さが共有できるよう工夫していく

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ワークシートより、作業の進捗状況を把握して適切なアドバイスを行う。	・製作品のデザインの工夫や作業の工夫について、進捗状況に応じてアドバイスを行う。	・ワークシートをさらに工夫改善していく。 ・作業の進捗状況に応じて適切な指導を行い、意欲の向上を図る。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活の中にある技術的な知識や内容を把握させ、理解させる。	製作中に適正な判断が自らできるように個別指導をする。	生活に役立つ教材を抽出し興味・関心を高める。